



## 2020年12月期 第1四半期(1月～3月期)決算 補足説明資料

証券コード:3449

- ✓ 本資料に記載された将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、将来発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性を含みます。
- ✓ 2016年～2018年決算期末及び2019年第1四半期は、決算短信、有価証券報告書、四半期報告書及び連結計算書類を作成していないため、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づき作成した連結財務諸表の数値を、参考情報として記載しております。
- ✓ 2016年～2017年決算期末の数値は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)の適用前の数値を、参考情報として記載しております。



1. 2020年12月期 第1四半期決算概要

2. 2020年12月期 業績予想

3. TOPICS

---

# 1. 2020年12月期 第1四半期決算概要

---

## ◆ 連結業績

- 管継手事業及び管継手関連事業が牽引し、前年同期比プラスで推移。

## ◆ 管継手事業

- 真空機器は、5G関連の設備需要を中心に売上増加。利益率が高いことから、連結営業利益にも貢献。

## ◆ 管継手関連事業

- 消防設備工事は、大型案件の完工により売上増加。
- マルチアクアは、戸建住宅向けで住宅メーカーとのタイアップ効果が現れ始めた。

## ◆ 金属塑性加工事業

- 輸送機器部品は、新型コロナウイルスの影響により、受注減少。
- 産業機器等部品は、ロボットアーム用製品の売上が増加。

## ◆ 介護事業

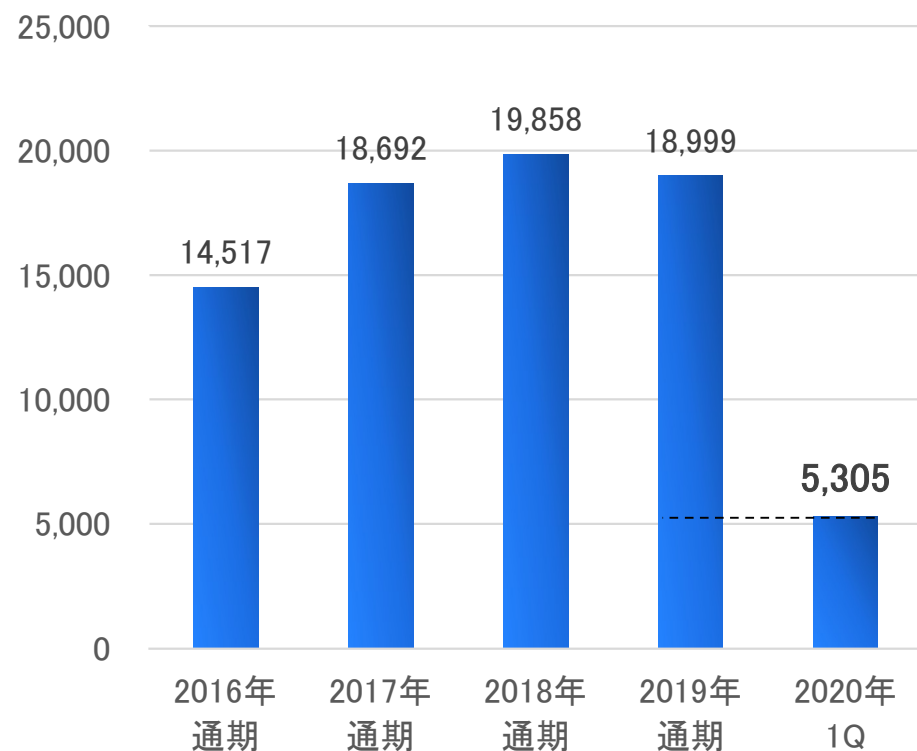
- 主力の福祉用具レンタルは、売上増加。
- 福祉用具の販売及び介護用住宅改修は、売上減少。



# 連結業績の推移

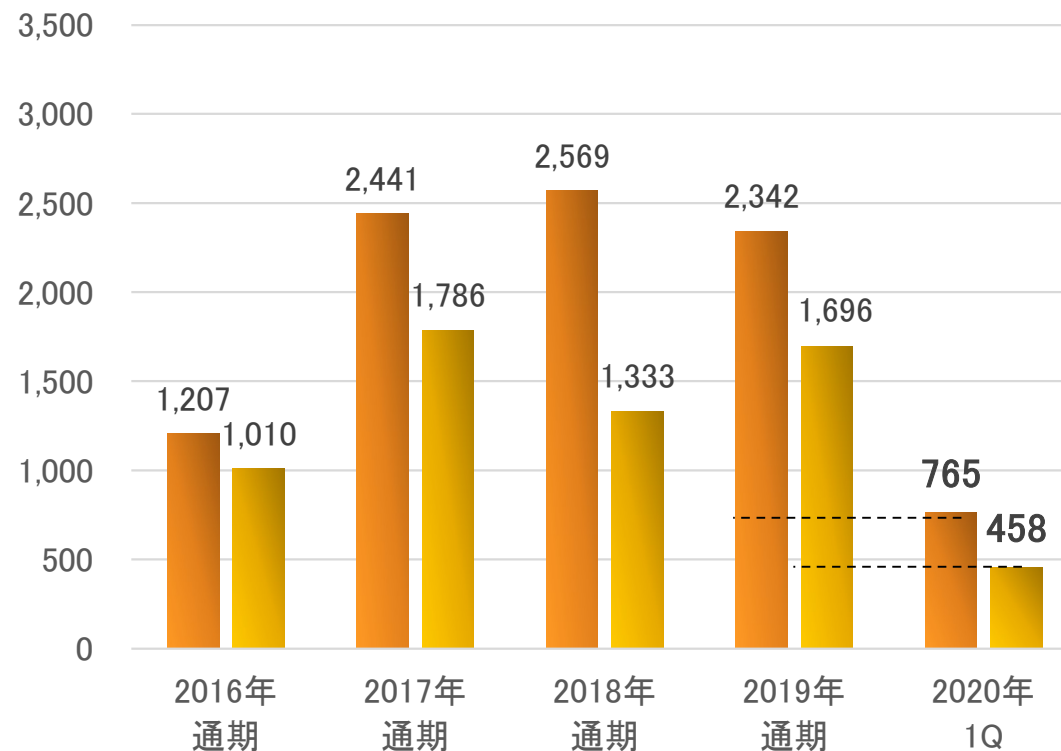


単位：百万円



## 1Q対前年通期比

売上高	27.9%
-----	-------



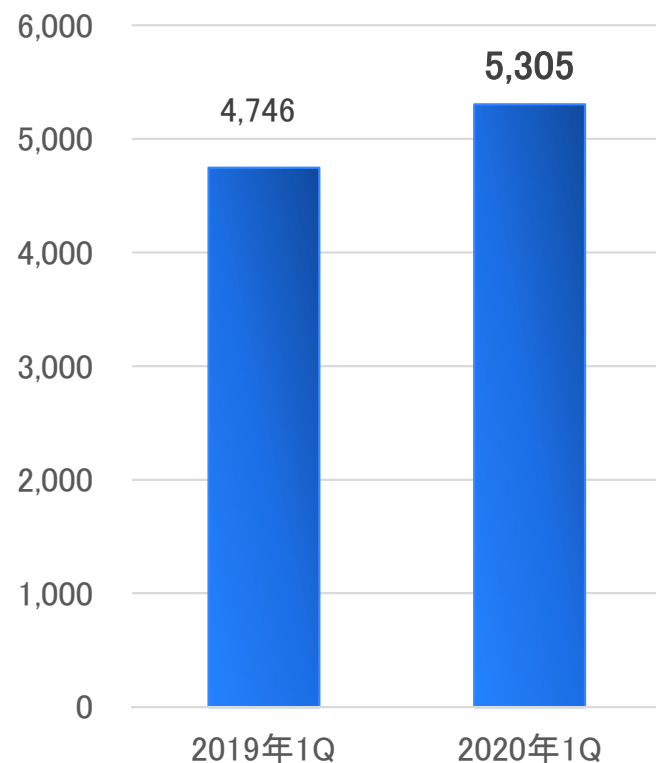
## 1Q対前年通期比

営業利益	32.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	27.0%

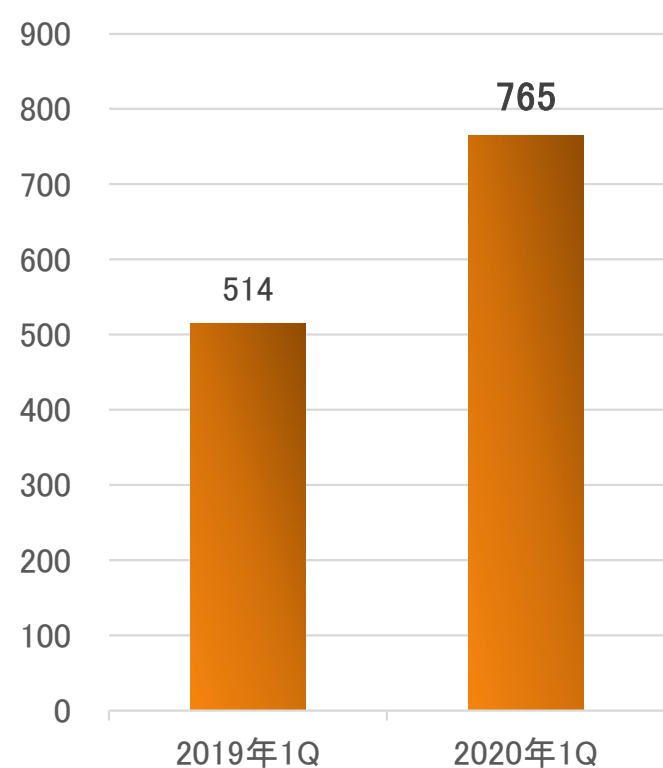
# 第1四半期連結業績の前年同期比



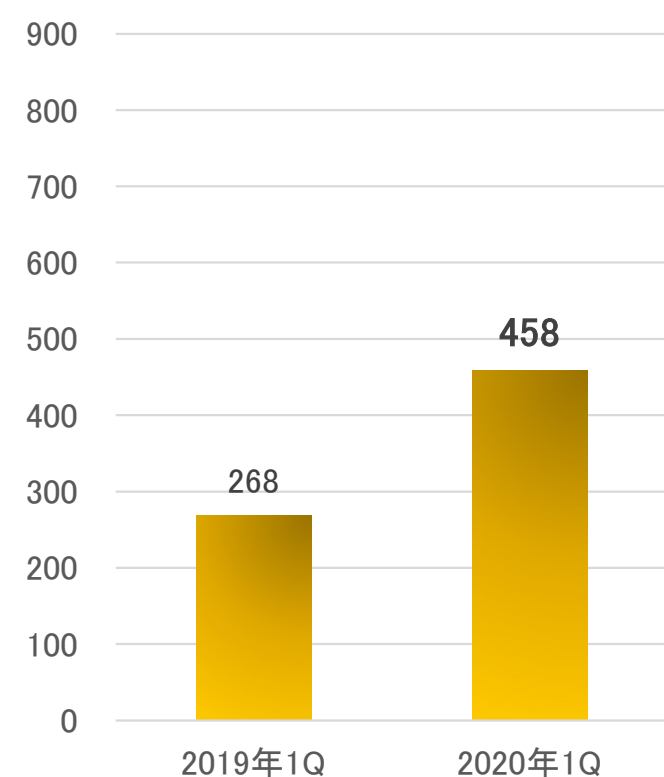
単位:百万円



**売上高**  
11.8%増



**営業利益**  
48.8%増

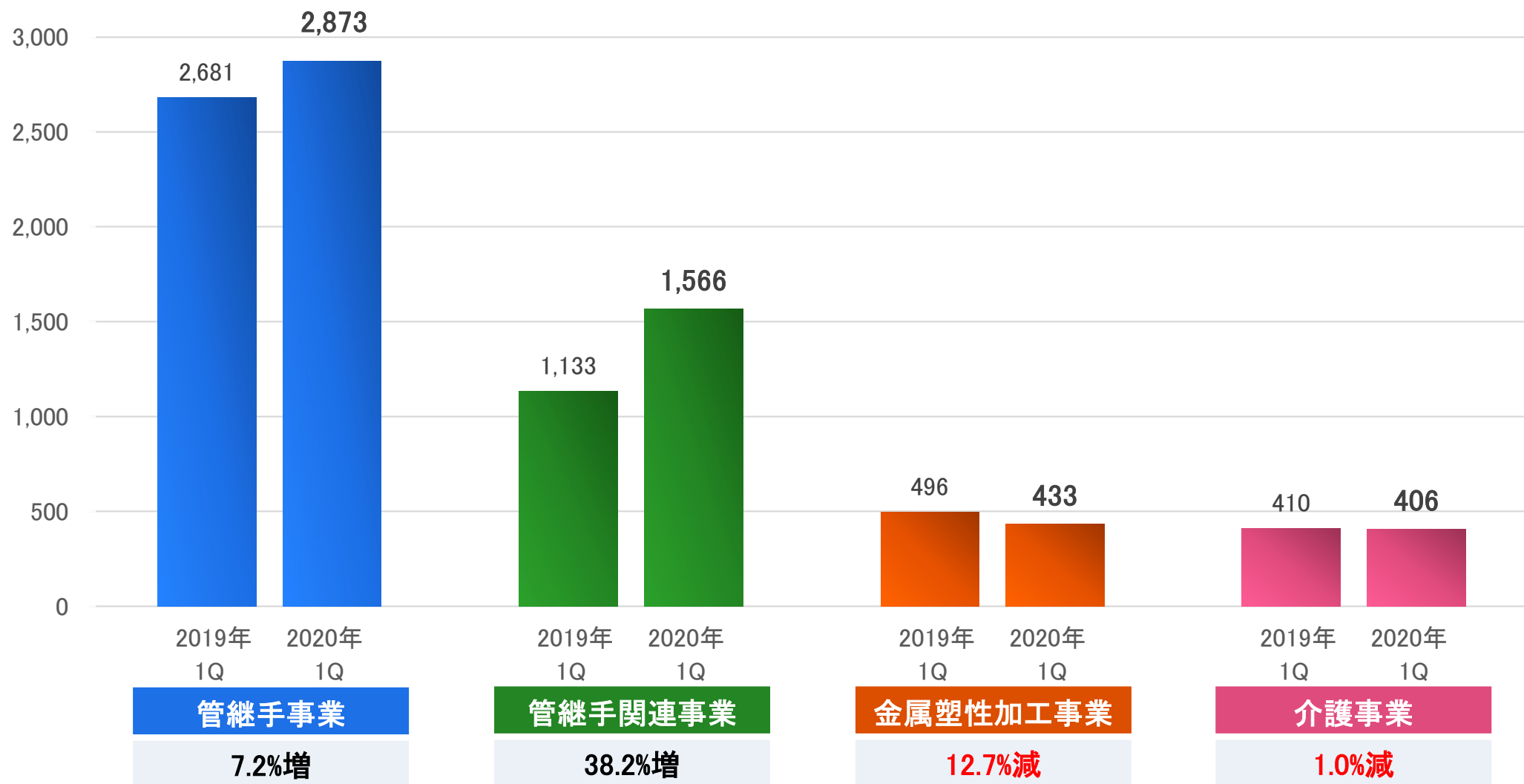


**親会社株主に帰属する  
四半期純利益**  
70.9%増

# 第1四半期 セグメントごとの前年同期比 【売上高】



単位:百万円

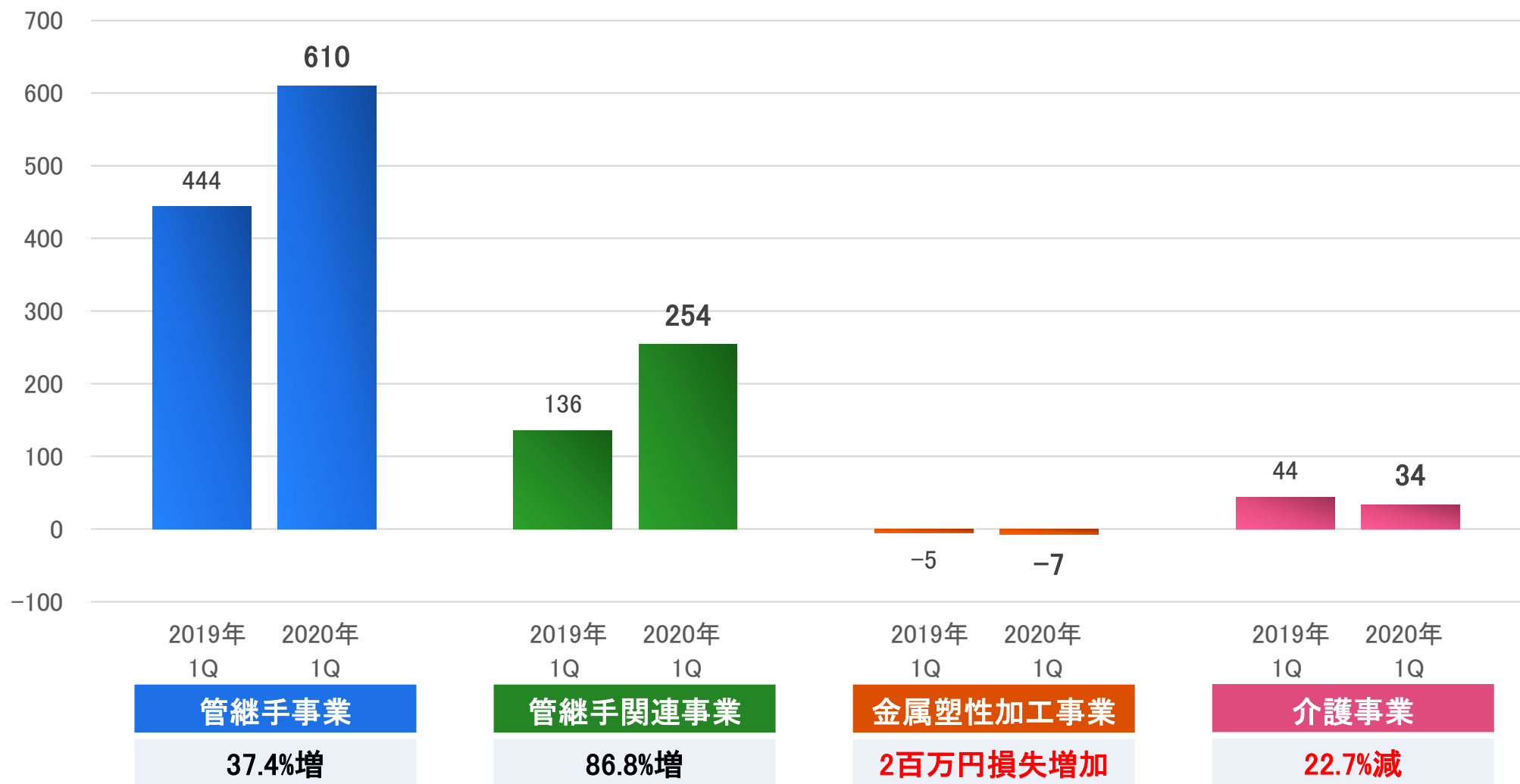




# 第1四半期 セグメントごとの前年同期比 【セグメント利益】



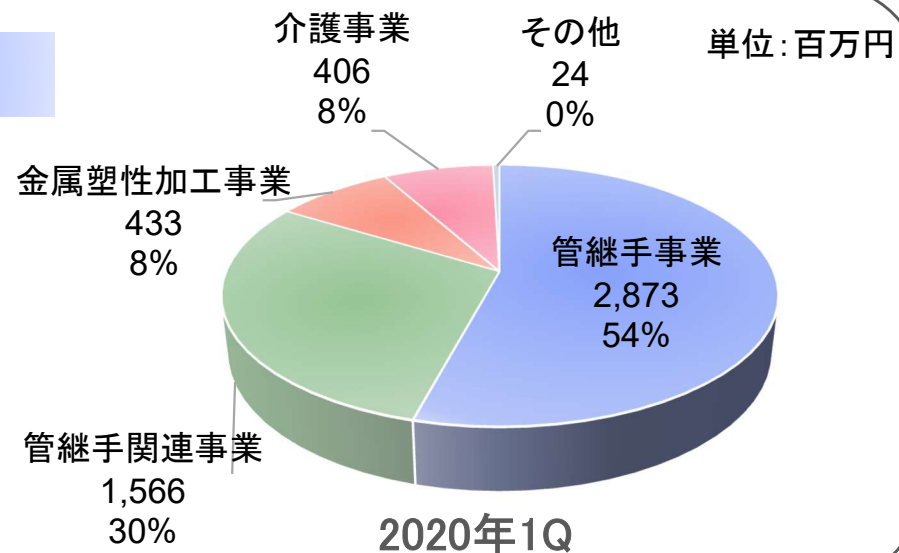
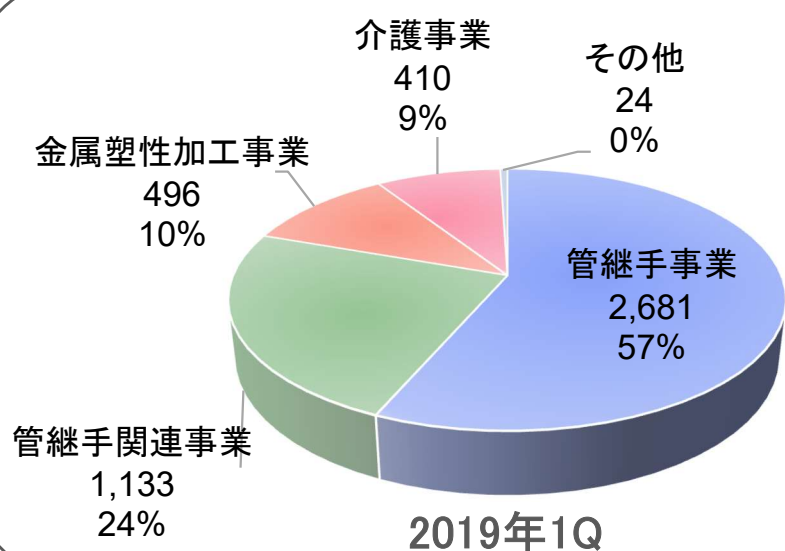
単位:百万円



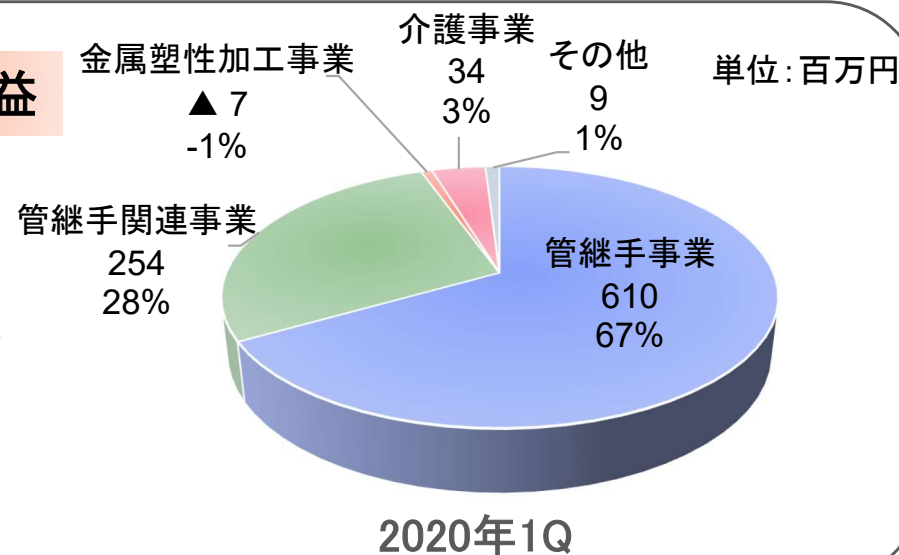
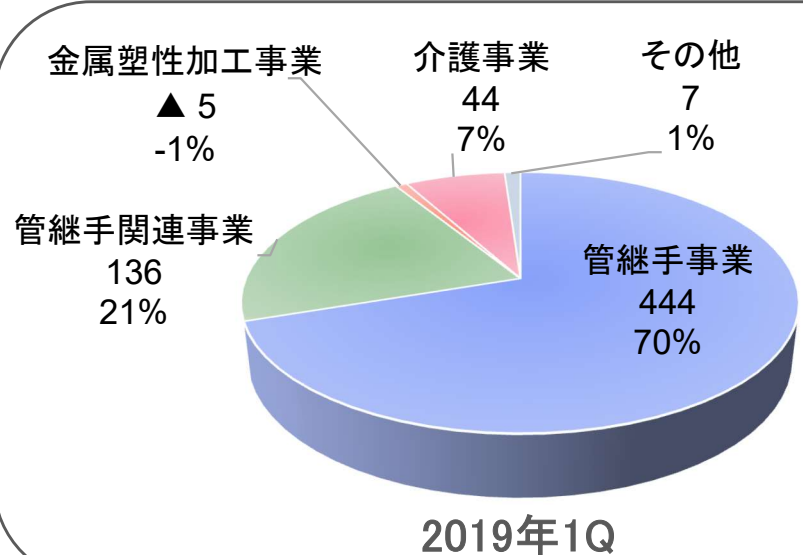
# セグメント構成比



## 売上高



## セグメント利益



## 連結貸借対照表(抜粋)



(単位:百万円)

	2019年期末		2020年1Q		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産合計	14,710	51.4%	14,259	52.1%	▲451
固定資産合計	13,902	48.6%	13,091	47.9%	▲810
<b>資産合計</b>	<b>28,612</b>	<b>100.0%</b>	<b>27,350</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲1,262</b>
負債合計	9,926	34.7%	8,735	31.9%	▲1,190
純資産合計	18,686	65.3%	18,615	68.1%	▲71
<b>負債純資産合計</b>	<b>28,612</b>	<b>100.0%</b>	<b>27,350</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲1,262</b>

(主な要因) 流動資産 : 未成工事支出金 ▲406  
 固定資産 : 関係会社出資金 ▲827  
 負債 : 未成工事受入金 ▲468、未払費用 ▲381、長期借入金 ▲182  
 純資産 : 親会社株主に帰属する四半期純利益 + 458、配当金 ▲437

## 連結損益計算書(抜粋)



単位:百万円

	2019年1Q	2020年1Q	前連結会計年度比 (増減額／増減率)	
売上高	4,746	5,305	558	11.8%
売上原価	3,144	3,479	335	+10.7%
売上総利益	1,602	1,825	223	+13.9%
販売費及び一般管理費	1,087	1,059	▲27	▲2.6%
営業利益	514	765	251	+48.8%
経常利益	524	769	244	+46.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	268	458	190	+71.1%

真空機器：5G関連の設備需要を中心に売上増加。利益率高く、連結営業利益にも貢献。  
消防設備工事：大型案件の完工により、売上増加。

---

## 2. 2020年12月期 業績予想

---

## ◆ 連結業績

- 引き続き、管継手事業を中心に伸長が見込まれるものの、新型コロナウイルスによる不確定要素が多く、合理的な算定が困難なため、現時点で業績予想の変更は行っておりません。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## ◆ 管継手事業

- スプリンクラー巻き出しフレキ「SP-X」の伸長に期待。
- 真空機器は、5G事業の本格化で、需要拡大の見込み。

## ◆ 管継手関連事業

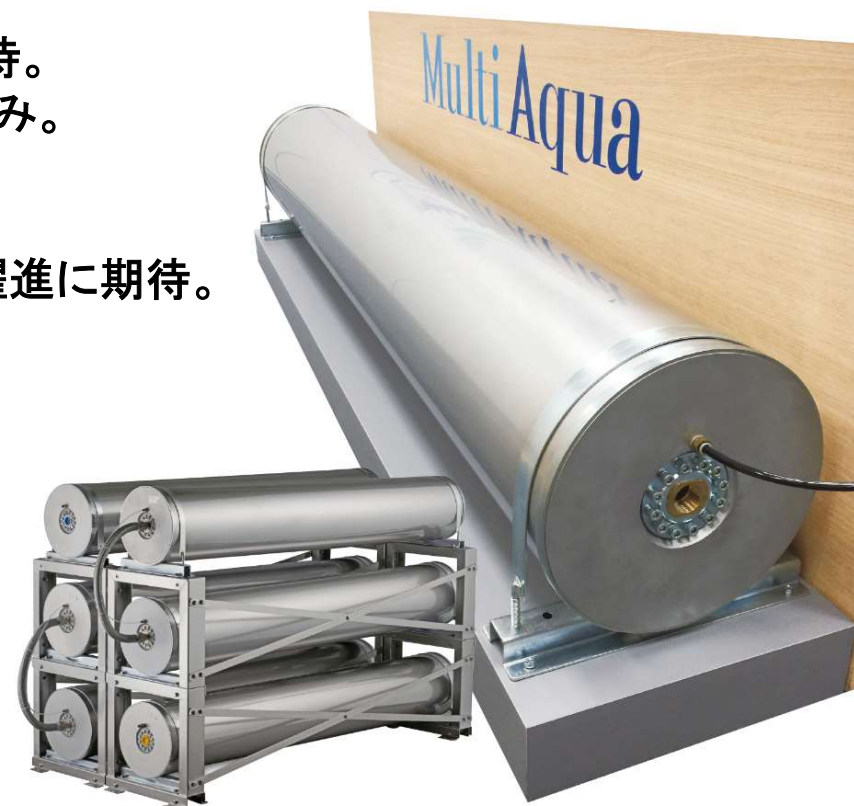
- 貯水タンク「マルチアクア」の戸建住宅向け販売の躍進に期待。

## ◆ 金属塑性加工事業

- 輸送機器部品は、新型コロナウイルスの影響による売上減少が、予想される。
- 引き続き、産業機器等部品の売上拡大に注力。

## ◆ 介護事業

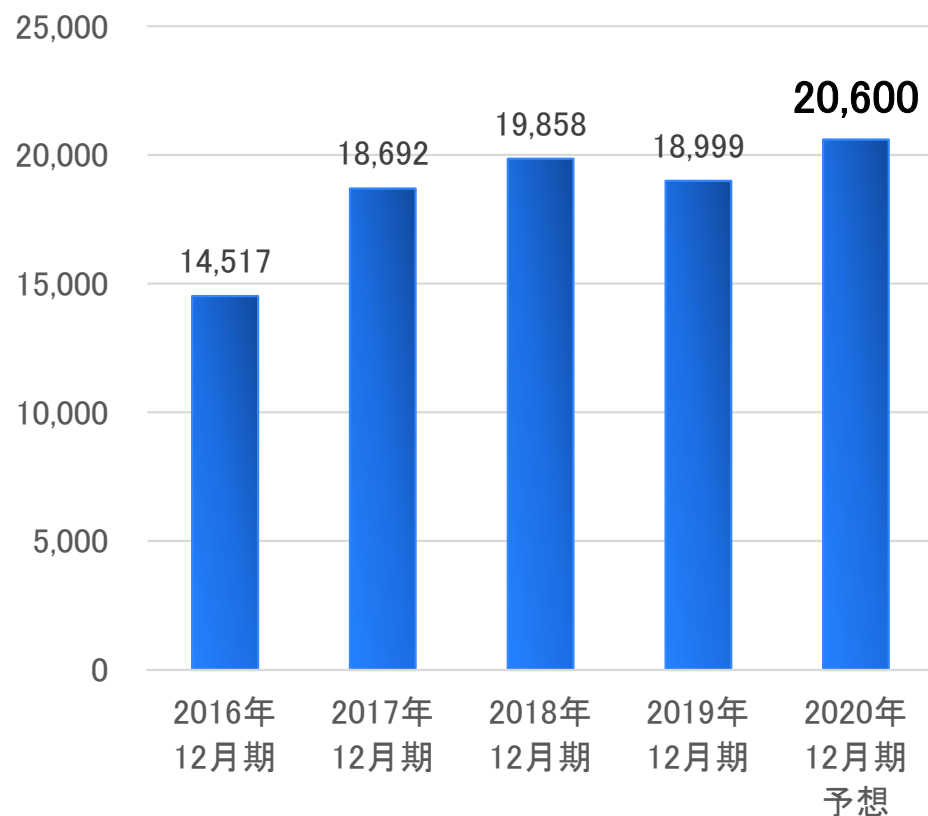
- 福祉用具レンタルは、堅調に推移の見込み。



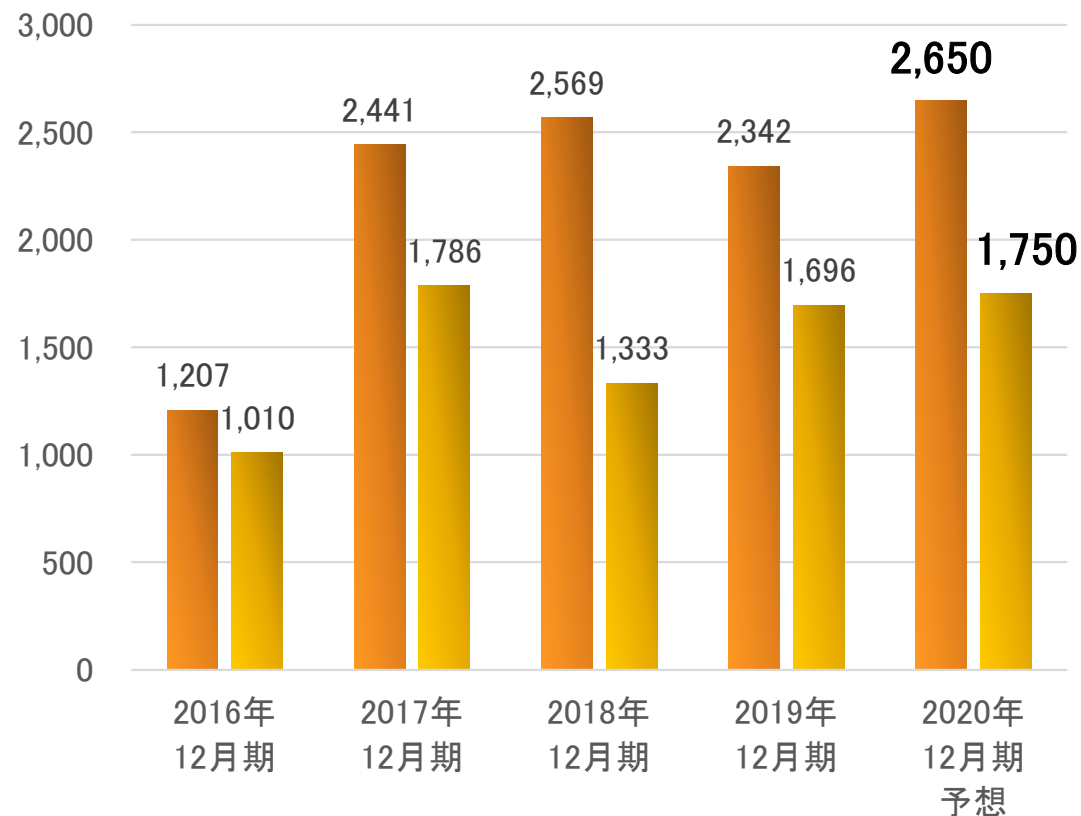
# 2020年12月期連結業績予想



単位：百万円



前期比	
売上高	8.4%増

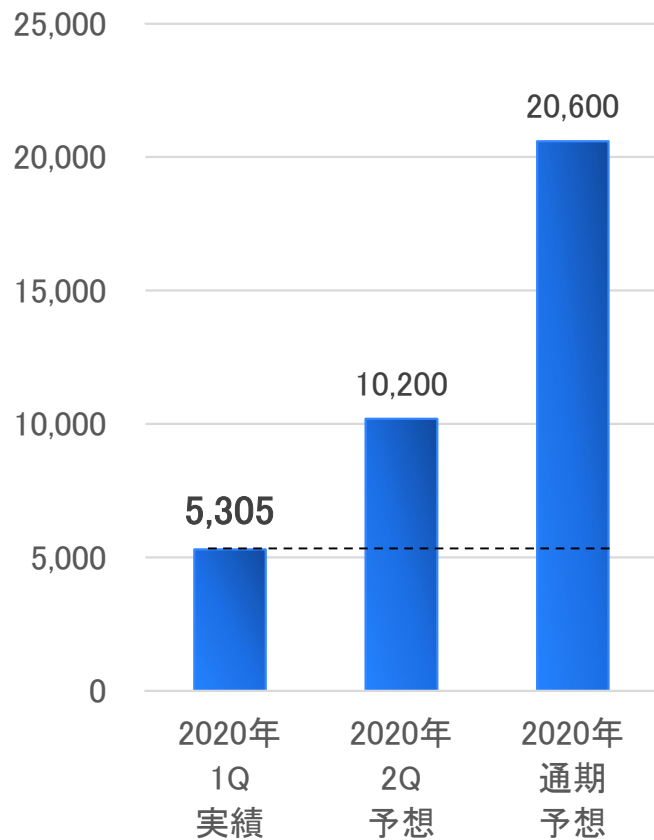


前期比	
営業利益	13.2%増
親会社株主に帰属する当期純利益	3.2%増

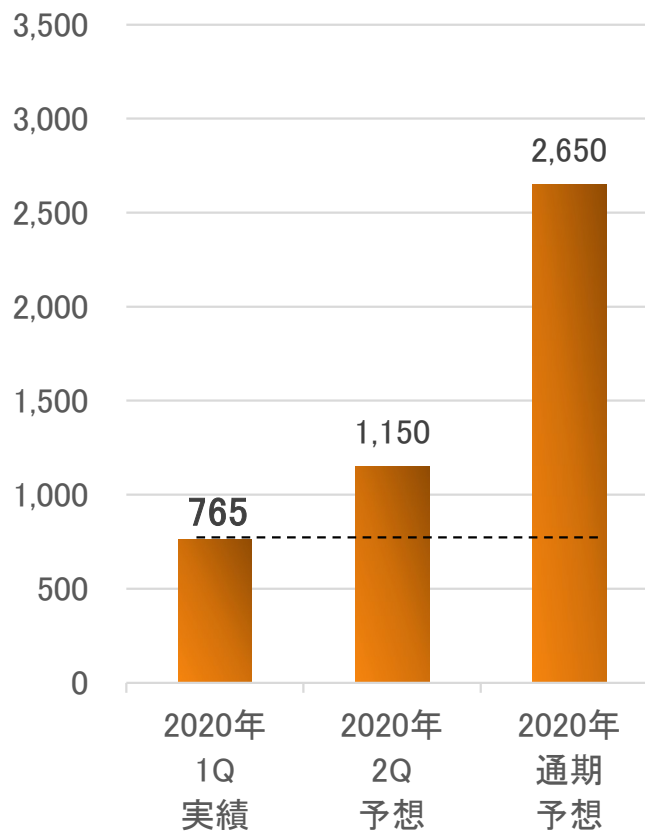
# 第1四半期連結業績の予想比



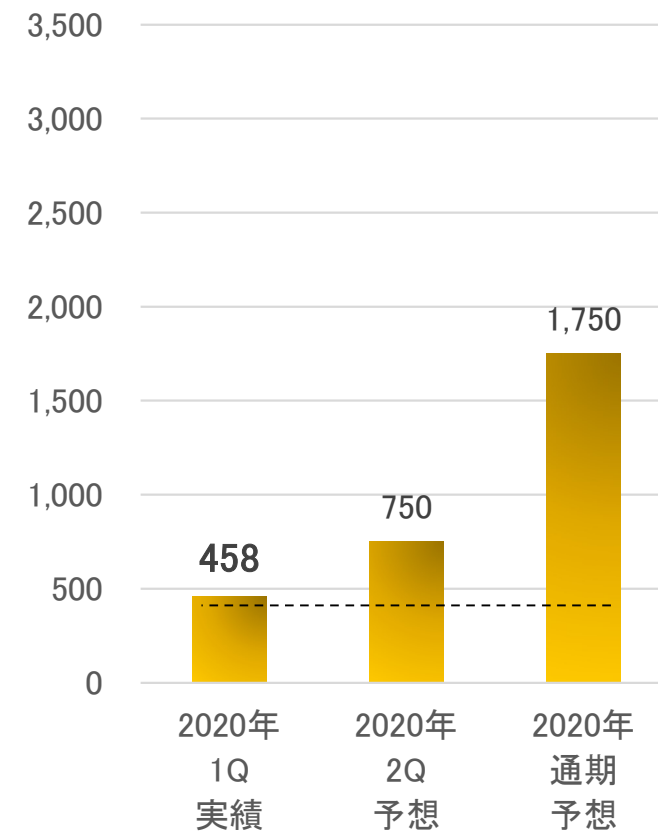
単位：百万円



売上高	
2Q予想比	52.0%
通期予想比	25.8%



営業利益	
2Q予想比	66.5%
通期予想比	28.9%



親会社株主に帰属する 当期純利益	
2Q予想比	61.1%
通期予想比	26.2%



---

## 3. TOPICS

---

# スプリンクラー巻き出しフレキ SP-X 本格販売開始 (管継手事業)



◆ 昨年末に先行販売したSP-Xが、評価良好につき本格販売を開始。

## SP-Xの特徴

- スプリンクラー用に開発したブレイド付のフレキシブル継手
- 優れた強度、高い耐久性、柔軟性を確保。
- 安心の品質 : 水圧による変形が少ない。  
: 繰返し曲げが可能。  
: 高い柔軟性により作業効率が向上。  
: 「消防防災 推奨マーク」取得。

## 高性能と低コストを両立



従来品(ブレイドなし)

SP-X(ブレイドあり)



現在、スプリンクラー用フレキシブル継手で消防防災 推奨マークを交付されているのはSP-Xだけです。



(ご参考)

当社のホームページに、SP-Xの詳しいご説明がございます。

<https://aquareserve.co.jp/product/>

グループ会社TF(VIETNAM)CO.,LTD.の工場では、増床工事が進んでいます。

※ 株式上場時の売出しで得た資金は、全てベトナム工場の増床工事に充当しております。

### 増床による効果

- ◆ 管継手事業の生産力増強。  
SP-Xの増産も、ベトナム工場に対応予定。
- ◆ 製造リスクの分散化促進。  
3ヶ国（日本、中国、ベトナム）の生産バランス最適化。

### 当社の生産体制

当社の管継手製品は、世界8ヶ所の当社グループ工場（国内5ヶ所、中国2ヶ所、ベトナム1ヶ所）で、生産されております。

中でも主力の製品は、複数の工場生産可能な体制を構築しておりますので、被災した工場が稼働できない場合には、他の工場で代替生産が可能となっております。

当社では、お客様への安定的な製品供給をメーカーの使命と考え、生産拠点の分散化や工場間の製造品種の共通化等による、リスク分散に取り組んでおります。



増床工事中のベトナム工場  
TF(VIETNAM)CO.,LTD.(ベトナム国ホーチミン市)

# Multi Aqua(マルチアクア) ハウスメーカー向け好調 (管継手関連事業)



## マルチアクアとは

- 災害時の帰宅困難者向けに当社グループの株式会社アクアリザーブが開発した貯水タンク。
- 水道管に直結し、常に新しい水道水を蓄える。
- タンク内は空気に触れない構造で、水質を7日間確保できる。

## 普及の経緯

- ◆ 避難所や企業のBCPをターゲットに、マルチアクアを発売。(貯水量約120Lの製品)
- ◆ 国土交通省の国土強靱化政策「緊急促進事業助成金」の対象となる。
- ◆ 2018年 大手自動車ディーラーが東京の70店舗に設置を表明し、都内10区1市と「災害時における帰宅困難者の一時滞在施設に関する協定」を締結。
  - 公共施設や法人への販売が拡大。
- ◆ 2019年 相次ぐ台風や地震などの災害
  - 「自宅避難」の意識が広まり、個人宅でのニーズが拡大。
- ◆ 2020年 個人住宅向け製品が好調。(貯水量約43Lの製品)
  - 今期1Qは、ハウスメーカー向け販売実績が、前年同期比で約6倍。
  - 3/23読売新聞に掲載され問い合わせが増加。

120Lの製品



120Lを6本連結した設置例



43Lの製品

(ご参考)

- 読売新聞 2020年3月23日 朝刊 暮らしコーナー「自宅に貯水タンク 災害に備え」  
アクアリザーブ社のホームページに掲載。  
<https://aquareserve.co.jp/202004081427/>
- アクアリザーブ社のホームページには、マルチアクアの詳しいご説明がございます。  
<https://aquareserve.co.jp/product/>

2020年12月期 第1四半期決算



---

補足説明資料 - 完 -

---

株式会社テクノフレックス  
証券コード:3449